北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名　ゆめのノリモノ～世界の子ども絵画展　　**団体名 NPO 法人フィール・ザ・ワールド**

項　目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	絵画募集に際しては尾張中央タイムズに２回、中日新聞に１回掲載された。また、絵画展期間中にも中日新聞に１回掲載された。市内全小学生にチラシを配布した。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	―	「市民の利益」の定義が不明なので、つながったかどうかはわからない。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	想像していた以上にたくさんの応募作品が市民から寄せられた。また、絵画展の期間中はたくさんの方々に見に来ていただいた。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	表彰式が当初の計画の規模より大きくなったことは嬉しいことであった。収支は予算より下回ることができた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	○	順調に事業が実施できたことからそう考える。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	この地域の特徴や住民の考え方をより詳しく知ることができたことは、次の団体の活動につながっていくと考える。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	生涯学習課、秘書課、東公民館、文化勤労会館、国際交流協会の協力がなければ、この事業はできなかった。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	韓国の子どもたちからの絵画の依頼や、ハングル文字訳、表彰式の会場は国際交流協会の共催体制なくしてはできなかった。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	○	同じ活動を継続するかどうかは未定。この事業で培った協働の精神と体制は、当団体の今後の事業に必ず反映させる。
	・自己資金の確保に努めていますか	×	この事業の参加費は無料としたが、市内の企業や他団体からの資金調達や CS または CSR 事業につながるような働きかけは、人材不足で全くできなかった。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	予算より下回る収支報告書となった。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	絵画展にお越しくださった住民の皆様や表彰されたお子様をお持ちのご家族の皆様とお話をし、成果は得られたと感じている。

自己評価：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全然できなかった　―わからない 又は該当しない